

第8節 原子爆弾被爆者援護

1. 被爆者医療

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、原子爆弾が投下された際、広島市、長崎市とこれに隣接する区域内にあった者、その他身体に放射能の影響を受けるような事情下にあった者、当時その者の胎児であった者について年2回の定期健康診断を実施し、被爆者の健康管理を行っている。

(1)原爆被爆者健康診断実施状況

平成 14 年度分

区分 市町別	手帳交 付者数	受 診 者 数									
		第 1 回					第 2 回				
		異 常 な し	要 注 意	要 精 検	治 療 中	計	異 常 な し	要 注 意	要 精 検	治 療 中	計
計	69	15	—	9	20	44	15	—	7	13	35
桑名市	34	—	—	7	13	20	6	—	2	10	18
多度町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長島町	4	2	—	—	1	3	2	—	—	—	2
木曾岬町	2	—	—	—	1	1	—	—	—	2	2
北勢町	10	5	—	2	2	9	3	—	3	—	6
員弁町	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大安町	3	2	—	—	1	3	—	—	—	—	—
東員町	11	4	—	—	2	6	2	—	2	1	5
藤原町	4	2	—	—	—	2	2	—	—	—	2

(2)各種手当支給状況

平成 14 年度分

医療特別手当	特別手当	小頭症手当	健康管理手当	保健手当	家族介護手当
1	0	0	52	5	1

(3)被爆者がん検診

平成 14 年度分

受診種目	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	多発性骨髄腫	大腸がん
受診者数	4	4	0	0	4	4